

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300901
事業所名	グループホーム樹の里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 複合施設の特徴を十分に活用し、利用者の生活に潤いを持たせている。特別養護老人ホーム内の「地域交流ルームいきいきホール」での催しに利用者が積極的に参加し、地域住民との交流を図っている。 市内の中学校3校から福祉体験学習の生徒を受け入れ、地域の社会資源としても貢献している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 偶数月に運営推進会議を開催し、家族、市の職員、地域包括支援センター職員、民生委員、敬老会役員等が参加している。 活動報告はパワーポイントを使って説明し、文字や言葉だけではなく、目に訴えて分かりやすく伝えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、必ず市の高齢者福祉課から担当者の参加がある。ホームのイベントと共催の場合には日曜日開催となるが、やはり市の職員の参加がある。 市の後押しで始まった認知症カフェ（「ほうやほうやカフェ」）が、地域住民の交流の場として定着してきた。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 複合施設全体の家族会が組織されており、年間3回ほど開催されている。グループホーム利用者の家族も参加しており、特に暮れの年末大掃除の後の“餅つき”には、多くの家族の参加がある。 家族のホーム訪問時や運営推進会議等、家族から意見や要望を聞き取る機会は多く、取得した意見については会議に取り上げている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	